

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GLP八尾IIプロジェクト	階数	地上4F
建設地	大阪府八尾市	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	110人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2022年4月7日
敷地面積	7,763㎡	作成者	浅井 康寿
建築面積	4,059㎡	確認日	2022年4月7日
延床面積	15,886㎡	確認者	堀川 純一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	78%
③上記+②以外の	78%
④上記+	78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.1**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

音環境	3.0
温熱環境	1.6
光・視環境	2.6
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

機能性	3.6
耐用性	3.1
対応性	4.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.3**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

建物外皮の	1.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	3.8
地域環境	3.6
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	階高、荷重等をゆとりあるスペックに設定することで、テナント倉庫としての対応性・更新性を担保した。また、敷地境界部において積極的に緑化をおこない緑豊かな空間を創出することで、地域環境・快適性に資する計画とした。	その他 ※特になし
Q1 室内環境	※工場用途のため対象外	Q3 室外環境(敷地内) 植栽による良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	設備システムの高効率化により、BEIm=0.55を達成した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率84%達成。 駐輪場、駐車場、荷捌きスペース確保し、交通負荷抑制に配慮した。
Q2 サービス性能	ゆとりある階高、荷重、天井高とした。 主要内装仕上げ材の更新必要間隔20年を確保した。	
LR2 資源・マテリアル	節水コマ、擬音装置付洗浄便座の採用により節水に取り組んだ。 OAフロアを使用し、部材の再利用可能性向上に寄与した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0005

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	GLP八尾Ⅱプロジェクト					
	建設地	大阪府八尾市					
	用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					1	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	1.0	1
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		